満1歳ベビーショック ▷773

野村　健斗くん（余戸南三丁目）２月１日生まれ

竹田　聡美ちゃん（保免上一丁目）２月２日生まれ

河地　聡大くん（西長戸町）２月３日生まれ

渡部　寧音ちゃん（太山寺町）２月７日生まれ

布袋　聡一くん（久万ノ台）２月９日生まれ

三上　茉優ちゃん（南吉田町）２月14日生まれ

濱口　裕大くん（本町二丁目）２月15日生まれ

西川　紗永ちゃん（南久米町）２月16日生まれ

誕生日の前月1日（必着）までに、郵送・eメールで赤ちゃんの写真、氏名（ふりがな）、性別、生年月日、住所、電話番号（郵送の場合は写真の裏に記入）を、〒790－8571 広報課 kouho-baby@city.matsuyama.ehime.jpへ（応募多数の場合は抽選・応募写真は返却しません）

新春 城山登山マラソン
1600人寒さに負けず笑顔で走る

笑顔でスタート

「走るよろこび、ふれ合う心、夢と希望の光る道」をスローガンに、今年で35回目の新春城山登山マラソンが1月1日に城山公園周辺で開催され、家族連れら約1600人が参加しました。

スタートの合図で元気良く飛び出した参加者は、お互いに声を掛け合い、会話しながら思い思いのペースで新年の走り初めを楽しみました。

戒能　駿一くん・茉由子さん・優樹くん（右から）（今在家二丁目）

爽やかな気分で新年を迎えることができました。今年は勉強、縄跳び、部活を頑張ります。

お問い合わせは、(財)市体育協会☎968-6660・FAX968-7770へ

平成24年 松山市年賀交歓会
1300人が新春の門出を祝う

本市の発展と飛躍を誓う平成24年松山市年賀交歓会が1月4日、総合コミュニティセンター（湊町七丁目）で開催されました。

安積舞のおにぎりを受け取る参加者

会場ではまつやま農林水産物ブランド「紅まどんな」などの試食や被災地復興支援として、福島県郡山産のブランド米「安積舞（あさかまい）」のおにぎりなどが振る舞われました。

また関係者ら約1300人が出席した式典で野志市長は、「地域の宝を磨く『たからみがき』のまちづくりを皆さんと進めていきたい」と新年の抱負を述べました。

年頭のあいさつをする野志市長

お問い合わせは、秘書課☎948-6200・FAX932-1877、(議)総務課☎948-6646・FAX921-1110へ

3/3 市民文化フェスタ講演会

金澤泰子さん（左）と翔子さん

翔子さん作の大河ドラマ「平清盛」の題字

【日時】３月３日(土)13時30分～15時（開場は12時30分）
【会場】総合コミュニティセンターキャメリアホール
【内容】書道家でダウン症の金澤翔子さんの母親、泰子さんによる講演「天使がくれた贈り物～ダウン症の女流書家翔子との愛の軌跡～」
【対象】市内に在住または通勤・通学する人
【定員】1000人程度（応募多数の場合は抽選）
【料金】無料（ただし整理券が必要）
【申し込み】２月21日(火)（必着）までに、往復はがきで往信用裏面に参加希望者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を、返信用表面に代表者の郵便番号、住所、氏名を書いて〒790-0012湊町七丁目5総合コミュニティセンターこども館「市民文化フェスタ講演会」係へ

お問い合わせは、(財)市文化・スポーツ振興財団☎909-6153・FAX921-8242へ

おめでとう かがやき松山大賞

地域力宣言2011ニッポン全国物産展 第2回ニッポン全国ご当地おやつランキング グランプリ

有限会社田那部青果 専務取締役 田那部　昇 さん

昨年11月に東京都で開催の同物産展でグランプリ受賞の「ちゅうちゅうゼリー」を作った有限会社田那部青果に12月22日、かがやき松山大賞が贈られました。

同社の田那部さんは「若い人が農業に携わりやすい環境を作り、農作物の生産から加工、販売まで一貫してできる仕組みを確立していきたいです」と抱負を述べました。

平成23年度全日本少年少女武道(なぎなた)錬成大会 演技競技小学5・6年生の部 優勝

神山　愛姫 選手(右)
野本　恵里 選手
（いずれも粟井小５年）

昨年８月に東京都で開催の同大会で優勝した神山愛姫選手、野本恵里選手に12月26日、かがやき松山大賞が贈られました。

受賞した神山選手は「これからも活躍してなぎなた競技をより多くの人に知ってもらいたいです」野本選手は「頑張って個人競技のレベルをアップしていきたいです」と元気に話しました。

第66回国民体育大会 ボクシング成年男子ライトウエルター級 優勝

福森　雄太 選手

昨年10月に山口県で開催の同大会で優勝した福森雄太選手に1月5日、かがやき松山大賞が贈られました。

アジア選手権大会の選考会に向け毎日練習を欠かさない福森選手は「目標であるオリンピック出場に向け、自分がやってきたことの集大成として一日一日を大切に過ごしたいです。そして将来は指導者を目指したいです」と力強く抱負を述べました。

第26回国民文化祭・京都2011 連句の祭典 文部科学大臣賞

向井 由利子さん・大月 西女さん・名本 敦子さん・大西 素之さん・岡田 伊勢子さん（左から）

昨年10月に京都府で開催の同祭典で最高賞に当たる文部科学大臣賞を受賞した名本敦子さんらに1月11日、かがやき松山大賞が贈られました。

受賞した名本さんは「受賞の知らせを聞いた時はびっくりしました。俳句のまち松山と並んで、連句のまち松山といわれるよう、今後も一生懸命頑張りたいです」と笑顔で話しました。

2/19 第4回 響け!!言霊（ことだま）“ことばのがっしょう”コンクール

小中学生による「群読」（複数人による朗読）コンクールが２月19日、総合コミュニティセンター（湊町七丁目）で開催されます。群読が生み出す“ことばのハーモニー”を楽しんでみませんか。

体全体を使って表現

【日時】２月19日(日)13時～
【会場】総合コミュニティセンターキャメリアホール
【内容】小中学生による課題詩（小学生＝「いのち」〈小海永二〉、中学生＝「何処までも生きよ」〈武者小路実篤〉）と自由詩の群読コンクール
▶審査員＝新井満（作家）ほか
【料金】無料

お問い合わせは、国際文化振興課☎948－6634・FAX943－9001へ

この広報紙は再生紙を使用しています